

# 1 単元名 日本の自然環境（全6時間）

金山町立金山中学校 奥田弘幸

## 2 単元のねらい

世界的視野から見て、日本は環太平洋造山帯に属し大地の動きが活発であること、温帯の山国で降水量が多く、森林面積の多い国であるといった日本の自然環境の特色を理解することができる。また、地形や気候においては、地域差が見られることに気づくことができる。

複雑な自然環境を背景に、日本では様々な自然災害が多く発生していることが理解できる。

## 3 単元で培いたい学び方

世界的視野から見た日本の地域的の特色をとらえるために、地図の読みとり、統計のグラフ化や地図化などを通して、自然環境について世界と比較し関連づけて理解しようとする学び方。

## 4 内容のまとめりごとの評価規準 地理的分野の内容（3）ア 「様々な面からとらえた日本」

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
日本の国土の特色に対する関心を高め、それを世界的視野と日本全体の視野に立って様々な面から意欲的に追究し、我が国の国土の特色をとらえようとしている。	日本の国土の特色を世界的視野と日本全体の視野に立って様々な面から追究するとともに、地域間を比較し関連付けて地域的の特色を明らかにする視点や方法を考察している。	世界や日本の地図や統計その他の資料を収集し、様々な面から日本の国土の特色をとらえるための情報を適切に選択して活用するとともに、我が国の国土の特色を追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	世界的視野と日本全体の視野に立って様々な面からとらえた日本の国土の特色とともに、地域間を比較し関連付けて地域的の特色を明らかにする視点や方法を理解し、それらの知識を身につけている。

## 5 単元の評価規準

	ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	世界と比べて見た日本の地域的の特色と日本国内の諸地域の特色に対する関心が高まっている。 世界的視野から見た日本の地域的の特色を自然環境の観点から意欲的に追究している。 日本全体の視野から見た国内の諸地域の特色を自然環境の観点から意欲的に追究している。	世界的視野から見た日本の地域的の特色を、自然環境の観点から、世界と比較し関連付けて考察している。 日本全体の視野から見た国内の諸地域の特色を、自然環境の観点から、傾向性や類似性に着目して考察している。 世界と日本を比較し関連付けて、また国内の諸地域を関連付けて地域的の特色を明らかにする視点や方法を考察している。	世界や日本の自然環境に関する地図や統計、その他の資料を収集している。 地図の読みとり、統計のグラフ化や地図化などを通して学習に役立つ情報を適切に活用している。 日本の自然環境について追究し考察した過程や結果を地図化したり報告書にまとめたり説明できたりする。	自然環境の観点から、世界と比較し関連付けてとらえた日本の地域的の特色を理解し、その知識を身につけている。 自然環境の観点から、傾向性や類似性に着目してとらえた国内の諸地域の特色を理解し、その知識を身につけている。 地域的の特色を明らかにする視点や方法を理解し、それらの知識を身につけている。
学習活動における具体の評価規準	日本が環太平洋造山帯に属していることに関心をもち、不安定な土地であることに着目して感想を書いている。 【第1時 ノートの記述】	三つの資料をそれぞれ関連させて、温帯地域の機構の特徴について考察している。 【第4時 拳手発言・ノートの記述】  自然災害が起こる背景について、日本の自然環境の特色と関連づけて考えることができる。 【第6時 学習プリント・発言内容】	それぞれの気候帯の気候の特色を、雨温図をもとにして読みとり、端的に説明している。 【第3時 学習プリント】  日本の地形（山地の分布）、各地の雨温図から、気候区分図から日本の各地域の特徴を読み取り、端的に説明している。 【第5時 拳手発言・ノートの記述】	地図や日本と世界の大河の資料から、「日本が山がちの地形であること」「河川の流が急であること」を正しく理解している。 【第2時 学習プリント】  日本が温帯に属すること、季節風の影響によって四季があることを正しく理解している。 【第4時 ノートの記述】

